



プロジェクト名称

すみだの'巣'づくりプロジェクト

プロジェクト活動概要

下町情緒あふれる墨田区は、路地文化が今なお残る貴重なものである一方、老朽化した木造建築物が密に建ち並び災害の危険性が高い地域も存在します。私たちは「防災」という地域の共通課題をきっかけにすみだのまちの魅力を守りながら、福祉・医療、地域住民、商店街など多くの人と連携し、様々なつながりをつくる学生らしいまちづくりを行っていきます。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- 1 「地域・つながりを見える化」を行うため、ホームページを作成し、協力団体などの見える化を行い、新たな連携や他地域への展開を目指す。
⇒ 現在、本プロジェクトのホームページを作成中であり最終調整の段階です。3月末までの開設を目指しています。
- 2 イベント参加者 200 人以上に対し「防災意識、まちづくり意識」に関するアンケート調査を行い、「地域の防災意識、まちづくり意識の向上度」を 90%以上とする。
⇒ イベント参加人数は合計 180 人と、目標には届かなかったが、うち 120 人にアンケートを実施し、そのうち 99%に「防災意識が向上した」と回答していただきました。しかし、事情によりアンケートを実施できなかった機会もあったため、今後別の方法での調査も検討していこうかと思えます。
- 3 NPO・企業と連携した防災ものづくりの試作品活用し、ビジネスモデルの体制、販売計画を行い、一部で販売を行う。
⇒ 防災ふろしきの製作は着実に進んでいます。また墨田区に拠点を置く企業にも協賛をいただいております。今後は協賛企業を増やすことで墨田区の防災意識の向上に尽力していきます。



活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2017年11月1日～2018年3月31日

■防災教育

- 11/11 防災祭り@汐入公園&東白鬚公園

⇒ 東京都公園協会から都立東白鬚公園と荒川区の都立汐入公園を又にかけた「みんなの防災まつり」というイベントへの企画出展の依頼があり、それに向けて企画制作を行いました。公園協会側に依頼としては、片方の公園で完結せず、両公園を繋げた防災企画というものであったので、私たちはこれまで2度にわたって実施してきた「防災遠足」に準え、各園内の防災設備を巡る、「防災設備ツアー」を企画しそれに至るまで、公園協会の方と幾度に渡り調整進めました。

当日は午前・午後の二部構成で東白鬚公園・汐入公園からの二つのルートに分かれツアーを実施。参加者と学生側が3人、そして東京都公園協会の方が1人付く形で行いました。協会の方が最初に公園の大まかな説明をし、学生が園内各防災設備の機能を説明します。参加者が防災設備に触れる機会となり、自分たちも防災に対し理解を深める事が出来ました。

- 12/23 宿題 DAY(冬) @墨田区ふじのきさん家

⇒ 地域の寄り合い処の『ふじのきさん家』にて墨田の子どもたちの冬休みの宿題を手伝いするイベントを行いました。今回、初めて私たちのイベントに参加してくれる子も何人もいてくれて、活動を知っていただける人を増やすこともできました。全員の宿題が終わった後に災害に関する紙芝居も見て、子どもたちに防災の大切さを学んでもらうこともできました。そのあとその場で子ども食堂もおこない、子どもたちと一緒に夕飯も食べました。

- 2/10 イザ！カエルキャラバン@言問小学校

⇒ 2月10日に「第9回 イザ！カエルキャラバン」に参加させていただきました。

「イザ！カエルキャラバン」とは、地域の防災訓練プログラムと、おもちゃ交換会「かえっこバザール」を組み合わせた防災イベントで、子供たちが遊びの延長で防災の知識を身につけられるイベントです。

開催に先立ち、地元の地域活動団体「一言会」や、現地で研究を行っている他大学等と協力し、運営会議を数回にわたり行い、お互いの意見を交換し合うことでそれぞれの企画のブラッシュアップを図りました。

様々な意見の中から、今回は防災グッズについてゲーム感覚で学べる「防災シューター」と災害時にも簡単な材料で作れて役に立つ「ろうそく作り」の二つの企画を行いました。

当日には言問小学校以外の子供たちも多く参加し、我々のブースにも約70人が集まりました。どちらの企画も子供たちと一緒に体験をしながら防災知識を学び、楽しく記憶に残る防災教育として好評をいただくことができました。



■コミュニティ活動

▪ これまでの活動で生まれた「つながり」の見える化を目的として、本プロジェクトのホームページを準備しております。内容としては協力団体についての他に、活動紹介や写真ページを考えており、3月末までに開設予定です。

▪ 11/30 商店街×学生カンファレンス@東京東信用金庫 両国支店

⇒ 様々な問題を抱えている商店街に対して、学生ならではのアイデアを提案する商店街×学生カンファレンスに参加しました。早稲田大学や千葉大学などたくさんの大学が参加し、今回、私たちは、イーストコア曳舟商店会を担当させていただきました。(イーストコア曳舟商店会がある曳舟は、再開発が進んでおり、昔の街並みが失われた一方で、新しい店が次々に出店しています。) 実際に曳舟に足を運び、商店会の会長さんに話を伺ったところ、加盟店のほとんどがチェーン店でイベント参加率が悪く、商店会としてのまとまりがないという問題を抱えていました。

そこで、私たちは、新しく進出してくるチェーン店にイベントに参加することを条件に加盟してもらうことを提案しました。そうすることで、イベント参加率を高くなり、チェーン店と地元のお店が交流できるようになるのではないかと考えました。

この活動を通して、他大学の発表も聞くことができたので、様々な視点から物事を考える面白さを感じ、また、プレゼンテーションスキルを身に着けることができました。

■防災ものづくり

⇒ 学プロ×NPO 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊×すみだクリエイターズクラブ

防災マップを難燃性や撥水性の布に印刷した防災観光ふるしきの活動を引き続き進めて参りました。

現在ものづくり班では防災観光ふるしきを使った小学校でのイベントを通して小学生にも防災意識を高めてもらう事を目標に活動しています。

やおきんや東京東信用金庫といった墨田区に拠点を置く地元企業の方々から協賛を頂きその資金をふるしきの作成費に充てることも検討しており、私たち学生だけではなく、学生を中心に墨田区全体で防災ふるしきの作成に取り組んでいます。

今の主な活動は防災ふるしきに印刷する内容を協議する事ですが、1月中旬からは小学校で実施する防災プログラムの企画内容についての話し合いも並行して進めており、今後は学プロ、東京東信用金庫、小学校の3団体での話し合いを予定しています。



図1、2：みんなの防災まつり

図3：商店街シンポジウム



図4、5：宿題 DAY（冬）

図6：カエルキャラバン



図7：カエルキャラバン

図8、9：防災観光ふろしき

1年間の成果まとめ、今後の活動計画など

■1年間の成果まとめ

・防災教育

地域の危険箇所や防災知識等を文化・歴史・地域資源と絡めながら実際に歩いて学ぶ「防災遠足」。地元に住んでいる区民のみならず、災害時要配慮者対策避難場所での受け入れ体制の確認や介護予防の推進といった地元福祉団体へ協力も勿論のこと地域の支え合いもメインに検討しています。

今年度は昨年度より協力団体を増やし、これまで行っていた月に一度の運営会議に厚みを持たせ、これまでの経験や、新規参加団体との協議を重ね当日まで幾度と調整を行いました。

結果、今年度は雨天にて延期を余儀なくされましたが昨年度の53名から64名と規模を増やし、年齢層も1～82歳までと多彩な参加形態となりました。また、班によっては多世代、留学生を



含めた国際交流も見られ、途中実施された「防災クイズ」や「防災倉庫見学」等と合わせ全体として充実したプログラムになりました。

・コミュニティ

今年度は、7月上旬に江東区で開催されたわんぱく防災フェスタをはじめ、11月上旬に荒川区の汐入公園と墨田区の東白髭公園で開催された防災祭りなど、墨田区だけではなく江東区や荒川区にも活動範囲を広げることができました。そのため、墨田区以外で主に活動団体から新しいアイデアをもらい、良い刺激を受けたとともに、新たなつながりを作ることができました。

ふじのきさん家で行われた、みまもり DAY や宿題 DAY などでは、地域の子どもからお年寄りまでが参加し、お話をしたり、防災についてのゲームをするとともに楽しく交流することができました。また、商店街×学生カンファレンスでは、商店街の会長さんや他大学の方、一般の方がいる前でプレゼンテーションをし、1年生も貴重な経験を積むことができました。

・防災ものづくり

この一年間は防災ものづくりの一環として、防災ふろしきの作成に取り組んできました。防災ふろしきは前述の通り、防災マップを難燃性や撥水性の布に印刷したもので、日常時には風呂敷として使用でき、災害時には地図を見て避難できる防災グッズです。

4月から情報整理や販売方法など企画の基礎となる部分について協議を重ねており、9月には ANA が運営するクラウドファンディング Wonderfly にて、防災ふろしきのアイデアが PRIZE WINNER 賞を受賞しました。また、この受賞を機にすみだクリエイターズクラブ、株式会社トライワープなどの様々な団体と協力してプロトタイプの作製に大きく前進することができました。

1月中旬からは小学校で実施する防災プログラムの企画内容についての協議を重ねており、この一年を通して防災風呂敷の製品化に大きく近づけました。

■今後の活動計画

・防災教育

2018年10月下旬に行う防災遠足に向け、福祉関係者、看護師、公園協会のかたと会議を行い、地域の皆さんが楽しみながら防災に対して少しでも興味を持っていただけるように努めます。

・コミュニティ

子ども食堂や宿題 DAY など子どもたちと楽しく交流し、主催する防災イベントへの参加者増加を図ります。また、みまもり DAY では地域のお年寄りと防災について学びながら交流し、地域のみなさまとのつながりをつくるようにします。

・防災ものづくり

6月に予定している防災観光ふろしきを活用した小学校イベントに向けて、イベント内容の検討や小学校や地元企業の方と日程調整をするなど、様々な協力団体と連携してイベントの成功を目指します。